

# ～誰もがしあわせになる「農福連携」～ 安芸地域の農福連携の歩み





# 安芸地域



# 農福連携とは

農福連携とは

農福連携は障害者や高齢者などが農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みです。



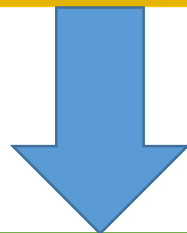
# 農業と福祉が連携した理由

農業サイド

農業分野での人手不足

福祉サイド

農業分野の就労先不足



困り事の解消に思惑が一致



# H29年12月 自立支援協議会の就労支援専門部会の発足(安芸市の就労支援)



相談者

どこかの支援機関に相談する

安芸福祉保健所

安芸社会福祉協議会

・あき総合病院  
・芸西病院

障害者就業・生活支援センター  
ポリス

ハローワーク  
安芸

・安芸市福祉事務所  
・安芸市農林課

なんこく若者サポートステーション

就労支援専門部会

支援機関の連携

農福連携

障害の勉強・理解

評価

通常支援継続

直接就労

経歴書(安芸市版)

JA高知県安芸地区  
アグリサポート

農家を紹介  
就農サポーター

経歴書(安芸市版)

ナス等農家就労

B型・A型  
移行

経歴書(安芸市版)

農業以外の仕事

経歴書(安芸市版)

(農業実習)  
土佐あき園芸研究会

経歴書(安芸市版)

ナス等農家就労

制度利用・就労体験



わかりあいと助けあいのもと 誰もが自分らしく暮らせるまち あき



相談者



どこかの支援機関に相談する

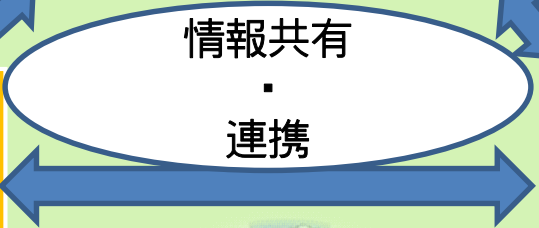
安芸市の課題解決

相談者



どこかの支援機関に相談する

安芸市自立支援協議会



**就労支援専門部会 (就労の直接支援)**

- ・安芸市福祉事務所・安芸市農林課
- ・社協・ポラリス・ハローワーク
- ・サポステ・あき総合病院・芸西病院
- ・安芸福祉保健所

**相談支援専門部会 (生活の自立を支える支援)**

- ・安芸市・障害者支援センターあき
- ・ポラリス・ヒューマンネットワーク
- ・あき総合病院・安芸福祉保健所

農福連携

障害の勉強・理解の推進

**【安芸市農福連携研究会】 (農福連携の政策を進める)**

- ・安芸市・ポラリス・サポステ
- ・JA高知県安芸地区・農業振興センター・安芸福祉保健所

支援

支援

経歴書(安芸市版)  
制度の利用 (お仕事体験)  
**ナス等農家就労**

経歴書(安芸市版)  
**・B型・A型  
・移行**

経歴書(安芸市版)  
制度の利用 (お仕事体験)  
**農業以外の仕事**

通常支援継続

R3年7月現在  
安芸地域の農福連携はさらに深化！

R3年7月現在

# 障害者や生活困窮者を支える農家や出荷場等

※働き方は違うがみんな定着している！

- ①東岡農園(4名)
- ③小松農園(2名)
- ⑤仙頭ファーム(3名)
- ⑦小松良二農園(2名)
- ⑨山崎農園(1名)
- ⑪輝農園(3名)
- ⑬長野農園(3名)
- ⑮住原農園(1名)
- ⑰山崎隆農園(1名)
- ⑲千光士農園(2名)
- ⑳土佐備長炭一(2名)
- ㉑JA高知県あき地区(1名)
- ㉓公文農園(2名)
- ㉕曾我牧場(2名)

- ②北村農園(2名)
- ④岡林農園(3名)
- ⑥岡林トシ農園(1名)
- ⑧シーベジタブル(3名)
- ⑩川内農園(2名)
- ⑫高知国沢農園(1名)
- ⑭安田出荷場(1名)
- ⑯安芸出荷場(6名)
- ⑰赤野出荷場(2名)
- ⑲芸西村出荷場(1名)
- ㉒こうち絆ファーム(36名)
- ㉔福田園芸(1名)
- ㉖松村のりあき農園(2名)

➡※受入可能農家+5=32箇所



計91名



# R2.4.1 ついに夢が実現する



〈農福連携の夢と深化型〉

一般社団法人

『こうち絆ファーム』TEAMあき

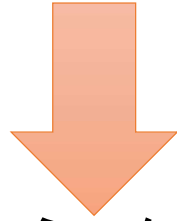
農福連携研究会

就労支援専門部会

色々な協力者に

感謝！

どうして作業所を設立したのか？  
R1年度～ある問題が発生する！



最低賃金が貰えない人が多く出現

最賃を貰えない人は

働いてはいけないのか？



**働きたい思いを大切にしたい！**

# こうち絆ファーム『TEAMあき』とは

(事業内容)

B型14名＋移行6名

現在36名程度登録

(作業内容)

○15件の農家からナスを集めて袋に詰める

1箱200円、出来高制

○農閑期はオクラの収穫と袋詰め

○R2.9からハウスの栽培開始



# 夢の実現

R3.6.28農閑期で仕事が減る**農業**  
コロナで炭が売れない**林業**と連携  
**農福と林福が連携して薪を作る**





# 現状① 農福連携が進んだ理由

- 地道にやってきた障害や生きづらさを抱えた人を理解する勉強会や、彼らのことを現場で雇用主へ説明することで、農家が生きづらさを理解してくれるようになった。  
→各支援機関と農家等が同じ目線で目標に向かっている！
- 農家と当事者のマッチング！（JAパワー）
- 雇用主と緊急連絡体制をしっかり作る！
- 全く知らない農家と農家の出会いや、同じころざしを持った、雇用主同士が知り合いになることで交流している。（うちで雇ってる人は〇〇なんだよね）
- 働くことで社会的役割を持てた！
- 農業は「生きづらさを抱えた人たち」の居場所である！



# 現状② 農福連携が進んだ理由

- 農業は、「生きづらさ」を抱えている人達の**特性にマッチし**、気づいた時に**労働力**となり、副産物的に**人手不足の解消**にもなった。

- 組織を超えた連携**

(農福連携研究会や就労支援専門部会等の設立)

官民組織が連携することで、組織が安心して「生きづらさを抱えた人達を」就労につなぎ、一緒に作業をしている。

専門機関が、雇用場所に足を運ぶ！



# これからの課題 と 方向性

# 課題:地域での生きづらさ理解の拡大

## 自殺対策は支援の入口

困りごとの輪

高齢者問題

障害者問題

離婚

触法者

長期入院

ゴミ屋敷

児童虐待

生活困窮者

外国人問題

自殺未遂者

借金

受診困難

ひきこもり

どんどんつながる  
生きづらさ  
を抱えた人達！

就労支援は支援の出口

農福連携ケアシステム



# 方向性:地域で仲間を増やすことと**連携**！

どんどんつながる生きづらい人たち  
つないでもつないでも現れてくる

ささえる農家に限界が...



いまこそ理解者を増やす  
勉強会を安芸市で開催！



**研修会:農福連携高知県サミットinあきを開催**  
ロコミにより雇いたい農家は増えている(^ ^)

すすむしかない！

# 病院との連携 発達障害児と家族、支援者が農業を体験する



病院のリハビリ部長から依頼あり。子ども達に農福を体験させて欲しい。  
将来の就労に農業を選択肢として考えてもらいたいと。



# 特別支援学校との連携



R3年度から特別支援学校でキャリア教育戦略会議を実施。JAと参加！  
学校の職業教育、就労支援に農業を取り入れて、卒業後の就労に活かす！

○R3.7 ナス狩り体験実施

# 高齢者も農福連携で元気になる

あったかふれあいセンター



これぞ生きがい作り！



人生の先輩達はナスの袋詰めが早い！  
＼(◎o◎)／！

- 感想
- 楽しい
  - もっと詰めたい
  - 稼ぎたい(1箱200円)
  - 仕事したらご飯が美味しい

# 触法者支援 の

農 福 連 携



触法者も同じ生きづらさを抱えているのではないのでしょうか？

# ☆三法(農)福連携☆三

(法務省と福祉の連携)

保護観察所との連携

弁護士との連携

検事との連携

刑務所との連携

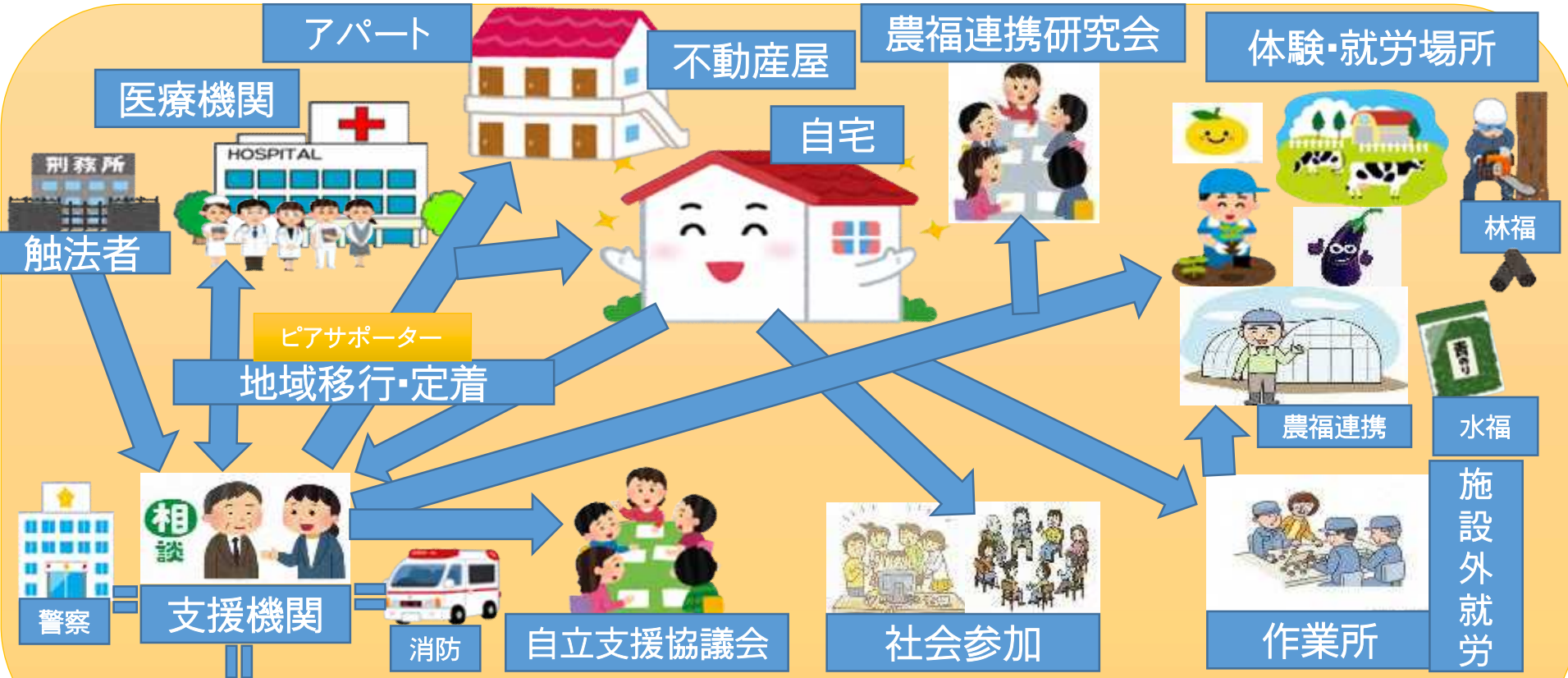




# 安芸版農福連携ケアシステム



わかりあいと助けあいのもと 誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまち あぎ



ここから東部地域ネットワーク会議(自殺予防ネットワーク)・自殺未遂者相談支援事業